

4A16
YTH0002

表

講座名		年 月 日		席 数	
令和2年 刑事訴訟法					
試験科目・回	試験地・クラス	受験番号			フリガナ
					氏 名

第1 設問1

1. P及びQは甲に対する取引を令和元年12月30日午後9時20分頃から同月31日午後9時10分頃まで行い、取引中 虚偽の情報を甲に伝え、自らを得ようとした。この取引は違法に反する。

まず、甲はP及びQの同行に自らの意思で同意しているが、取引中甲の意思で取引が虚偽の情報を甲に伝え、自らを得ようとした。甲は重要な権利利益を侵害する行為に反し、そのため取引が違法に反する。任意取引(刑事訴訟法(1)人下(2)条(12))に反する。

また、甲は第2回取引に反し、虚偽の情報を甲に伝え、自らを得ようとした。任意取引の結果が問題となる。

(1) 点、任意取引も任意取引も問題なく、被害者は人権を侵害するわけではない。

つまり、社会生活上相当と認められる違法状態で行われた。

場合により任意取引は違法と解する。→ 検討要を示した通り。

(2) 本件において、たしかに甲は取引を拒否して引き上げようとしたこと

が、虚偽の情報を甲に伝え、自らを得ようとした。P及びQも詐欺、

虚偽の情報を甲に伝え、自らを得ようとした。P及びQも詐欺、

虚偽の情報を甲に伝え、自らを得ようとした。P及びQも詐欺、

思える。

しかし、甲は取引の時が一瞬に虚偽の情報を甲に伝え、自らを得ようとした。

虚偽の情報を甲に伝え、自らを得ようとした。P及びQも詐欺、

虚偽の情報を甲に伝え、自らを得ようとした。P及びQも詐欺、

伊藤 塾

とある。この場合、甲は乙の自由を侵害している。

2. 乙は甲を2

(1) 自由法則

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

(2) 乙は甲の自由を侵害している。

甲は乙の自由を侵害している。乙は甲の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

条件が与えられている。

次に検討する。乙は甲の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。

3) 以上より、自由法則に基づいて甲は乙の自由を侵害している。

乙は甲の自由を侵害している。

第3 問題3

1. ~~中~~ 中へ井沢人は wab 2 人 1 7 2 「同進性 tuc」とへ 12 枚 22

直、バツ二二二から、百八十三のバツ二二二の自給の同定が五、二五、二五

② 連生があり、正に禁止に当たらない場合 $b_1 = p_{11}$ 、正に等しいに似

[illegible]

(1) 自然の同王性 / 足跡を辿る

ゆえに、 θ が X の点から入る - から出る - 差をみたす自然数 $n \geq 1$ がある。

から、~~この本のねらい~~ W. E. B. DUBOIS によって述べられている。

5-2 同知以因正午(2) 此之知。

(2) 法律の同一性 $\hookrightarrow$ 同前即可.

故原式 $\leq \frac{1}{2} \ln 2 + \frac{1}{2} \ln 2 - \frac{1}{2} \ln 2 = \frac{1}{2} \ln 2$

手のひたしは、人の心とつながる。その心を同じく感じることは、
自分自身を知ることに繋がる。

二、以下の同程前和後記は必ず記入せよ。

問題の所在を
明らかにする。

⑦ → ⑧ 点... 意外なところから当該犯罪を犯した人々がいたことを指摘している

こゝに裁判官に偏見を招かせるものがあることを注意し、

もっとも、犯罪に特有性が無い、~~犯罪~~は一般人に広く知られており、

それらが、 α と β の間に γ が存在するならば、 γ は α と β の間に存在する。 α と β の間に γ が存在するならば、 γ は α と β の間に存在する。

342 = 77320

↓ このワードは7月2日最初に
行政司の所へ入った。

1. 条件に於いて、~~計算式~~ X に対して θ の関数として、 θ の最大値を求めよ。

寛政3年(1791)年用印の偽跡、及び「 λ 」もへた、事件(宝暦侵入)密告の犯行

(2) 窓ガラスが単面鏡の場合、 $T_{11} = 0.13$ となる。これは ~~反射率~~ 反射率である。

[illegible][illegible]

[illegible]